

## 平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
地歴	地理B	普通科・3年生・理系	3
教科書 副教材等	[主たる教材] 『新編詳解地理B』（二宮書店）『高等地図帳』（二宮書店） [副教材] 『最新地理図表ジオGEO』（第一学習社）『新地理要点ノート』（啓隆社）		

## 1 科目の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## 2 科目の内容

- (1) 「様々な地図と地理的技能」の習得＝地図帳をフル活用し、たくさんの情報を必要に応じて使いこなせるような技術の習得を目指す。
- (2) 「現代世界の系統地理的考察」＝地球上で起こっているさまざまな自然現象に注目し、その発生の仕組みとそれが人間社会にどのような影響を与えているか、またそれらを人間がどのように利用しているかについて考える力の習得を目指す。
- (3) 「現代世界の地誌的考察」＝地域の歴史的背景を考慮し、空間軸と時間軸の両面から当該地域の地域的特色を明らかにすることを目指す。

## 3 授業計画 (3単位 \* 35 105時間)

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月 5月	<b>第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察</b> <b>第1章 現代世界の地域区分</b> <b>第2章 現代世界の諸地域</b> 第1節 中国 第2節 韓国 第3節 東南アジア 第4節 インド ○1学期中間考査	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次に学習した系統的地理を踏まえて地誌学習する。</li> <li>・地元の教材を取り上げ地誌学習の基礎を作る。</li> <li>・地誌学習は「項目ごと」「主題を通して」「地域差から」など様々な方法があることに気づかせる。</li> </ul>
5月 7月	第5節 西アジア・中央アジア 第6節 アフリカ 第7節 EU 第8節 ドイツとポーランド ○1学期期末考査	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図をフル活用する。</li> <li>・地図化する利点を考察させる。</li> </ul>
7月 10月	第9節 ロシア 第10節 アメリカ 第11節 ブラジル 第12節 オーストラリアとカナダ	18	

	○2学期中間考査		
10月 12月	<b>第3章 現代世界と日本</b> 第1節 世界の中の日本 第2節 持続可能な社会に向けて ○2学期期末考査	24	・地球規模の課題について現状理解に留まらず、将来に解決すべく主体的に関われる生徒の育成を目指す。
12月 3月	<b>地球規模の課題についてレポート作成</b> 人口問題・食料問題・民族領土問題・環境問題など 2年間学習してきた内容を踏まえて、自ら課題・テーマを設定し、研究成果をまとめ、発表する機会を作る。 センター試験・二次試験対策のための問題演習も含む	30	

計 105 時間（55 分授業）

#### 4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の 観点 ・ 規準	人間生活は多くの地理的事象（自然環境・社会環境）の影響を受けていることに関心を持ち、積極的に取り組み、課題提出も確実である。	学習内容をもとに、世界の問題が身近な問題に深く影響していることが理解でき、それらの問題について自分の意見を文章で表現できる。	自分で調べたことを、地理的な技能（図・グラフ・視聴覚教材など）を使い、まとめることができる。	高校生としての最低限の基礎知識を身に付けている。 我々人間は様々な地理的事象の中に生きていることを理解している。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・ペア学習やグループ学習</li> <li>・授業プリントや課題等</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・グループ学習や発表活動</li> <li>・授業プリントや課題等</li> <li>・要点ノート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表活動</li> <li>・授業プリントや課題等</li> <li>・要点ノート作成</li> </ul>	定期考査 小テスト・課題プリント

#### 5 担当教員

地歴科教諭

#### 6 担当者からのメッセージ

現代社会を生きる私たちにとって、文化・政治・経済どれをとってもある特定の地域や1カ国だけで現在の課題を解決できなくなっている。地球環境問題、民族・宗教・領土問題、人口問題などグローバル規模で解決しなければならない問題は山積みである。

このような時代に飛び込む君たちは、近い将来世界の人々と触れ合う機会が多くなるだろう。その際、相手の文化・伝統を理解しておくことが必要となる。また、情報化社会の中で無数に飛び込んでくる情報をいかに正しく把握し判断をしていくかも重要となるであろう。

地理の学習は必ずや君たちの将来を手助けし、人生を豊かなものとしてくれるはずである。